



鶴見区民会議は、誰でも自由に参加できる話し合いの場です。話し合いから、うらおいがあり、心安らぎ、また活力のある地域社会づくりのアイデアが生まれます。

編集発行 鶴見まちづくり推進会議  
承認鶴見区第 20号

## 「安全・安心 地域力で守ろうわが町」

平成16年7月16日(金) 鶴見公会堂において区民大会・区民会議を開催しました。今年度の区民会議テーマ「安全・安心 地域力で守ろうわが町」に沿って、NPO法人 犯罪予防相談センター理事長の梅本正行氏に基調講演をしていただきました。

### 防犯対策、できることから始めましょう

#### 梅本正行氏の講演から

今までに携わってきた犯罪の具体例を挙げながら、防犯の大切さを訴え、参加者の危機管理意識を啓発していただきました。

侵入犯罪の手口の約7割は、窓ガラスを割ってかぎを開けて入ってくる方法だが、最も早急に取り組むべき防犯対策は玄関である。というも、玄関のかぎ穴が一番見えるところにあり、その家の防犯バロメーターになるから。まずはピッキング対策や、ワンドア・ツーロックなどの対策をした玄関で、防犯意識のアピールを。

知っている家が暗い時、「外の電気をつけた方がいいですよ。暗いと泥棒に狙われますよ。」と一声を。一声掛けられたことで、「わざわざ町内の人が声を掛けてくれたからきちんとしよう。」と思う人が何人かいるだけでも違う。そして留守をする時には、隣に一声掛けること。留守のはずの隣で物音がしたり、人が入っていく気配がしたら、「何やっているんですか」と言ってもらえたり、110番してもらえるから。まずは声掛けから始めよう。

防犯の4原則は、音・光・時間そして周囲の目。「地域を守るのは、まずは皆さんの目です。自分の目を信じて、不審な人や車を見かけたら迷わず警察へ通報を。その一本の電話で凶悪犯罪者がその町から逃げていくことになるんです。」「地域パトロールの始まった地域で犯罪が減らなかったところは一箇所もありません。我が家の防犯、地域の防犯、その先駆者になるのは皆さんです。やれることから始めてください。」との梅本氏の迫力ある呼びかけに、参加者の方々は熱心に聞き入っている様子でした。



#### 梅本正行氏

NPO法人 犯罪予防相談センター理事長。NHK文化センターセキュリティセミナー講師。10年以上にわたり、警察署で署員の特別教養講師を務めるなど、犯罪対策の専門家として知られる。現在、テレビ出演や講演等を通じ、犯罪アナリストとして活躍中。

\*アナリストとは、調査・分析の専門家のことをいいます。

## ★区民大会 功労賞表彰

今年度もさまざまな分野で顕著な功績のあった方々が表彰されました。



《鶴見まちづくり功労賞受賞者》

### ○個人の部

- 牛頭 昭次 生麦蛇も蚊も保存会会長(平成15年まで)  
酒井 萩富花 鶴見邦楽連盟正会員、  
箏曲・長唄・三味線指導  
濱治 陽子 横浜市高齢者健康体操レクリエーション指導者  
益満 信子 JR鶴見駅、区役所周辺の清掃活動  
横山 正志 鶴見区文化祭運営委員長(平成15年まで)

### ○団体の部

- 神奈川県厚生年金受給者協会 鶴見支部鶴見分会 地域の美化活動  
駒岡上町会 街の美化活動、不法投棄防止の取り組み  
マンドリンアンサンブル・アマービレ 地域文化の発展に貢献、ボランティア演奏会の実施  
(敬称略)

## ★区民大会・区民会議で行なった会場アンケートの結果

参加したことのある町の防犯活動で1番多かったのは「美化清掃」、2番目に多かったのは「町内パトロール」でした。町全体で防犯に取り組むために必要だと思う工夫については「全ての住民が参加できるような組織づくり」が最も多く、2番目に多かったのは「情報交換と連携を図るためのネットワークづくり」でした。

## 平成16年度第2回鶴見区民会議

11月28日(土)午後2時～ 鶴見大学会館

## 「安全・安心 地域の力で守ろうわが町」

分科会～区民の井戸端かいぎ～

- ①町の中の犯罪防止
- ②子どもが被害者・加害者にならないように
- ③高齢者・障がい者に関わる犯罪防止
- ④防災

一時保育、手話通訳 あり  
申込みは11月18日(木)  
まで

誰でも自由に参加できます。ファクスや電子メールでもご意見を募集しています。

鶴見区役所区政推進課広報相談係 〒230-0051 鶴見区鶴見中央3-20-1

電話510-1682 FAX510-1891

電子メール [tr-kuminkaigi@city.yokohama.jp](mailto:tr-kuminkaigi@city.yokohama.jp)